

## 別府市で行われている事業(概要)

### ・自立支援型サービス支援事業(リハビリテーション専門職等派遣事業)

資格を有する専門職が介護保険サービス事業所等へ出向き、サービス利用者に対する適切なアセスメントと生活機能評価、課題解決に向けた効果的な支援計画の作成やサービス内容等への助言を行います。また、サロンや住民主体の通いの場等に専門職員を派遣し、介護予防活動の普及・啓発及び育成・支援も行います。

【派遣職種】:理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・管理栄養士

### ・サービスC(短期リハビリ集中事業)

リハビリテーションなどの専門職が利用者に合った個別プログラムを提供し、日常生活に支障のある生活行為を3か月～6か月で改善できるように通所・訪問サービスを通して集中的に支援します。

【対象者】:介護保険の要支援の認定を受けている方・基本チェックリストで生活機能の低下がみられる方

### ・認知症事業

#### \* 別府市認知症高齢者GPS機器購入費等助成金

高齢者のひとり歩きによる事故を防止し、当該者を介護する者の身体的及び精神的な負担を軽減することにより、安心して介護ができる環境を整備するため、GPS機器の購入等に要する経費に対し、別府市認知症高齢者GPS機器購入費等助成金を交付しています。

【上限額】:2万円まで

#### \* 別府市認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

認知症高齢者が日常生活における事故によって、法律上の損害賠償責任を負った場合に、これを補償する個人賠償責任保険を保険会社と契約することにより、認知症である本人・家族等が安心して生活することができる環境整備を図ることを目的にしています。契約は、市と保険会社との間で締結され、保険料は、市が負担します。

【対象者】:別府市オレンジステッカー交付事業によるステッカー交付台帳に登録されていて、市内に住所を有している方。

#### \* 別府市オレンジステッカー交付事業

認知症等によりひとり歩きをするおそれのある高齢者が行方不明となった場合に、早期発見・事故の未然防止ができるように、靴等に貼る「オレンジステッカー」を交付します。

#### \* オレンジカフェ

「オレンジカフェ」とは、物忘れが気になる方や介護している家族、認知症に関心がある方などがつどい、コーヒーや紅茶を飲みながら気軽に交流できる場所です。また、専門スタッフへの認知症についての相談もできます。

【開催場所】:野口ふれあい交流センター(野口元町12番43号)

【開催日時】:毎月第3土曜日 13:00～15:30 参加費:100円

#### \* 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく理解を示し、偏見をもたず、認知症の方や家族に対して温かい目で見守ることができる人、「認知症サポーター」を養成する講座です。